

2015.

8

なんたる星大賞

迂回

米田 一央

はだし

恋をしている

スコラブ

伊舎堂 仁

ナイス害

加賀田 優子

なんたる星大賞

【目次】

連作

「怪談短歌(鉄拳5搭載ドローンとの死闘編)」・・・・・・・・ナイス害

「銀色床（ぎんいろどこ）へ」・・・・・・・・伊舎堂 仁

「ワールドのワ」・・・・・・・・スコラブ

「非公開リスト」・・・・・・・・迂回

「七回殴る」・・・・・・・・加賀田 優子

「避雷針」・・・・・・・・米田 一央

「海までの」・・・・・・・・恋をしている

(無題)・・・・・・・・はだし

なんたる星大賞 選考結果発表&編集後記に代えて

銀色の夏生のししゅうにひっそりとでてくるようなえいりなまもの

弁当で温まつてるムヒを塗りお経を唱え笑ったりした

なんと俺、短い名前がだいすきで「手」と名乗る女の胸を揉む

砂浜を駆け抜けてった影のない黒ギャル達がワニを連れ去る

将来は画像 Post になりたくて好きだった子を残らず食べた

目の前で不思議な人が死んでいき涙の数だけ強くなれない

様々なペットボトルに高低差のある白き粉 火葬場比較

万引きで捕まったりしたあの店が選挙事務所になっててツイキャス

「遺影~~~~~買います~~~~~」の軽トラが影のない黒ギャルを連れ去る

自販機へのぼる誰もがつま先をお釣りの穴にいったんいれて

なんのけんかだったのだろう わりばしをしっぺで割って沸くバーベキュー

わたされたアクエリアスの缶に口つけないように飲みながらこぐ

サービスエリアへ銀色床へは森のそば 森を抜ければ大学 君の

「10分で行って帰って来れる?」「あら」「バスとはここでおわかれだよ」

☐テレで見るような森かきわけて見たことのない建物のまえ

月の大学から月のバスに乗り月の始発を待つ駅前へ

体育すわりで森を見ているミシン目の視線の線の先の▼

ポカリって麦茶と飲むと遠足の味がするから気をつけている

7月に7月を聴く初めての7月のなか7月はいく

ワールドのワ スコラブ

六月のジャンボジェットは冷やされて三十五度の国へ飛んでく

ああここは異国だセブンイレブンの平面的な看板がある

道ひとつ入ればすべて灰色で寝転ぶ人も色を持たない

島国の小指の先でスマホ繰りHELPばかりが空に浮かんだ

出られない迷路のような店にいてこの角煮も八角の味

蒸す夜に巨大な美容広告の歯が白すぎて疲れてしまう

赤赤とした服を着たこいびとを目的地として帰るための旅

使わずに終わった紙幣を円にして時間が急に近付いてくる

冷え冷えとジャンボジェットは飛んでゆき雨の日本へ、またね、六月

岩石のスリルがすごいソシャゲーに課金してもっとすごい岩石

おはようございます。仕事だつてのにキリトリセンが皮膚まで伸びてる。

火曜日の時のバラエティのエンディング曲のママの足

コンビニをぶちまけちゃった店長が泣いてウェットティッシュ持つてる

たのもしいエレベーターの「階を押す」ポツシフル「うんたのもしい

来年もまた来ようねと気絶したロデオマシンに嫁いでく人

まっさきにマカロニシイク頼んでるおまえはいとしいとしいなのかよ

全身が良かれと思つて草色のババアの孫の怪訝な目つき

渾身の低温調理でバラ肉がさざ波になつたときの話する？

今日でした。おやすみなさい。落ちます。(かわいいヘリコプターの自撮り)

七回殴る 加賀田優子

境内に散らばる金魚数えたら七匹だった七回殴る

電話ばらばら鳴ってかき氷もう食べたって舌の色

ちいさい食べ物の話をするとき声もどんどんちいさくなった

宗教をしていたおばあちゃんが死んで来れなくなった宗教の人

かげろうがしたのなまえ、とうつむいた子どものつむじが見つけれない

人のセックスをわはわはははははははははははははははははは

蛙がなんにも言わずにはいつていくあじさいの枯れた下にある中華鍋

としゃぶつと急に聞こえてとしゃぶつはきもちのいい音だと思った

にゅーあらいばる、ばる、ばるはら、はらっば、ば、ばらしゅーと、と、とまっつて、まっつて

避雷針 米田一央

二段目の右目をがっしりつかんだらトームボールに登れるらしい

あ、起きたそのまま風呂にとびこんで浮かぶもなにも沈めていない

健康になればいいなと思ったのにへそから花丸がにょろり出る

かつこいいトームボール・おそろしいトームボール・エビの背筋

まぶたとか細かく作り上げられているのだけれど彫られているし

避雷針買ったんだってガッツポーズしているキン肉マン見せられる

ここで水をぜんぶ抜くのね、そうすると！おたまじゃくしはぜんぶ死にます

海までの
恋をしている

ネギが浮くなんてウケるね商店街から商店街への17歩

友達がほうれん草に恋をしてたまに写真を見せてくれる

指をさせここで育った少年にあなたを見せろご迷惑をおかけして

どうしてこんなにかるいんだろう爆弾はお金で買える感じの感じ

舌を食う感覚ですみっこにたまり夜が皆勤賞の二学期

死にたいなあなんてあなたはカバなんだれかにむりがあるからでん

かわいい子と喋って夜に将来を思っであたりめに手はのびる

でたらめなTシャツを着てはじまんだーあなたはーとんでるみたいだ

バスケットゴールと犬をばらバラに見ながら保険は入らなかった

カーに服のつてますよ、とつぶやいてふらつきながら好きなんです

はだし

トイレのドア開けたら浜で先にいたじいちゃんと相撲の話した

自転車でトマト畑を突っ切ればワープして佐賀城壁で死ぬ

草原をゆきます馬車は安田大サーカスだった三つを乗せて

意味は？って聞かれた夜のコンビニてあなたを意味をわかりかねてる

『怒ってる農民をクリック、君はいくつ一揆をとめられるかな？』

ラップして夏の焼きそばだったのに冷えてく嘘そばみたくなくてく

駆けあがってくるふたりが横切つてふりむく空に弾幕みたいに

しょうもない口撃戦を終わらせたくなり放った言葉が既読既読既読既読のまま

ばーかばーか言ってる方も言われてる方も見ている猿もわたしも

風鈴に立ち向かうから私にもかっぱえびせんわけてください

な
ん
た
る
星
大
賞

第一回なんたる星大賞発表

大賞

知らない事情

まな！

パンノアクラウ

御系さち

次席

ペンギンづくり

大嶋航

行事には出ない

まるやま

特別賞

夏へ、美食生活

めちやくちやうるさいあしか

受賞の言葉

この度はなんたる星大賞という素晴らしい賞を頂けたこと、誠にありがたくそして恐れ多く思います。短歌を行うきっかけとなったこの賞の第二回の開催も心待ちにしています。

まな！



この度は身に余る榮譽に驚いています。受賞の連絡を頂いてから三日ほど経ちますがいまだに驚いていますし、この三日間ずっと驚き続けています。何せ、賞と名の付くものを頂くのは、小学校二年生の頃に福山市立動物園の象を描いて以来なのです。天満屋の催事スペースにその絵が飾られたことも良い思い出です。なんたる星の皆様、ありがとうございます。驚きました。

御糸さち



知らない事情

まな！

来週で通学路が変わりますカメラおじさんの道を左

『今日は閉店しました』の文を考え過ぎて closed にする

大陸の裏側にそつと貼っている一番良い時の神様のプリクラ

今まさにいる海ではなく電車から 見ていたあの海こそが海

鳴ったように聞こえたけれど違うみたい あ鳴ってたみたい俺でした俺

パンノアクラウ

御糸さち

時間貸駐車場には空がある鳥のよきぎるスペースとして

空間か時間か分らないけれど二〇分二〇〇円なら買うか

走ってる時よりかるいラパンノアクラウン黒塗りの高級車

3番の赤い車と6番の白い車はキスをしなさい

足立足立湘南足立足並みのみだれたところから夏になる

ペンギンづくり

大嶋航

生き別れた恋人たちの再会も私立図書館では私語になる

犯行に用いられた突っ張り棒が遺体の腹部に突っ張っている

高架橋見つけた時の高鳴りを集めてデイズニーランドができる

ノーチラス号格納庫清掃時ボンチョ着用許可要請デモ

ペンギンを創るときだけ面白いシーエムだったんだよと神様

行事には出ない

まるやま

ビーム出す蛍光色の鬼たちにプラスチックの豆をぶつける

会計用トレイは透明な針の山 香典袋は買い忘れた

「そう思う」⁵⁵人に背を向けて のこり⁵⁶人とはじめる宴

アイドルの卒業公演感覚で埋め立てられる海を見に行く

「おまえだ」と叫ぶバターの怪談を練習すれば外は初雪

夏へ、菜食生活

めちやくちやうるさいあしか

緊急時 その他 瑕疵 網 ウイルス性 姉が勝手に応募しまして

地球よりでかい魚を釣ったあと四角いトマトに恋してみた

場所じゃないところにいるから見つけてねすべてのオーロラ・雲に泳法

ヒント1「私は君を殺したい」2「たぶん花火だあんなに高くて」

コピー機の不調のノイズに似たような横顔なのかも、それか嘘かも

編集後記に代えて

この度第一回なんたる星大賞の受賞作が、まな！「知らない事情」・御糸さち「パンノアクラウ」のW受賞で決定致しました。総応募数六一編ものご応募をいただき、ご参加いただいた方々にはメンバー一同大感謝をしております。本当にありがとうございます。

さて、W受賞という結果をみていただいても分かる通り選考会は大変混迷を極めました。審査員八名（恋をしている・迂回・はだし・ナイス害・米田一央・スコラブ・加賀田優子・伊舎堂仁）が選出した上位作品の中からさらに最終候補作を十二編まで絞り、そこから二日間に渡る議論の末出した結論になります。なんたる星本誌誌上ではこの選考会の模様もお届けする予定でしたが、あまりにも選考会の内容がポリュミーになってしまったため、今回なんたる星史上初の臨時増刊号を刊行することになりました。こちらは来週発刊予定の為、詳しい審査理由と選考会の模様及び受賞作以外の最終候補作の発表等はそちらでご確認いただければと思います。また、全六十一作品への個別の評については今月中のご返信とさせていただきます。応募多数の為当初より進行が遅れておりますことを深くお詫び申し上げます。いましばらくお待ちいただければ幸いです。

なにはともあれ、まな！さん御糸さちさんおめでとうございます。そしてご応募いただいた方々またファンレターをくれた恋をしているファンのあなた！我々にとって素敵な時間をくださり本当にありがとうございます！
ございます！では、また臨時増刊号でお会いしましょう！チュツチュツ！

あなたの生涯のパートナー 恋をしている

執筆者

はだし(@sunsetsan0)

ナイス書 (@NiceGuuuy)

恋をしている (@vavoikenumai)

スコラブ(@scope scape)

米田一央(@sawayakanai)

加賀田優子 (@0ccak)

伊舎堂 仁 (@hito genom)

迂回 (@ukaian)

なんたる星8月号

発行日：2015年8月9日

編集発行人：恋をしている・迂回

表紙：スコラブ

Twitter：@nantaruhoshi

Mail：nantaruhoshi@excite.co.jp